

平成24年度後期授業評価アンケート結果報告

1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（wordで配布）し、電子データで回収。

3. 回答率等

- 1) 対象開講科目数 7科目（ただし極域科学特別研究・極域科学特別演習、他専攻開講科目は除く）
- 2) 履修者数 7名
- 3) 期待回答数 13件
- 4) 回答数 13件
- 5) 回答率 100%（回答数（13）／期待回答数（13）×100）

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

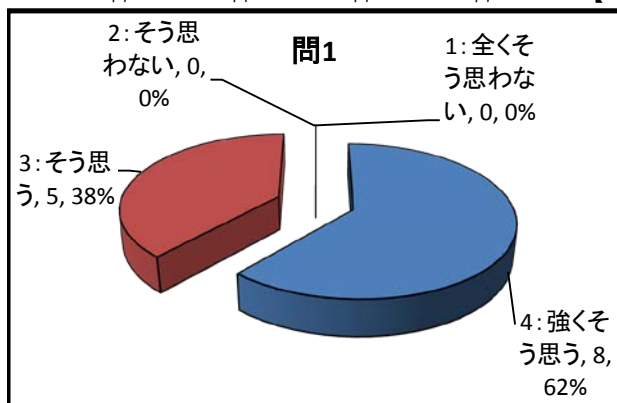
4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が校閲した。

問1. 授業内容はシラバスと対応していましたか。

4：8件 3：5件 2：0件 1：0件 【平均3.62】



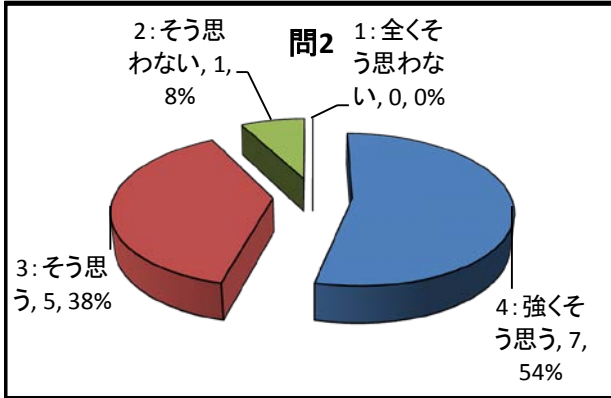
(コメント)

4と3を合わせて13件、100%であった。授業内容はシラバスとほとんど対応しており、シラバスの内容も周知できていると考えられる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 7件 3 : 5件 2 : 1件 1 : 0件

【平均3.46】



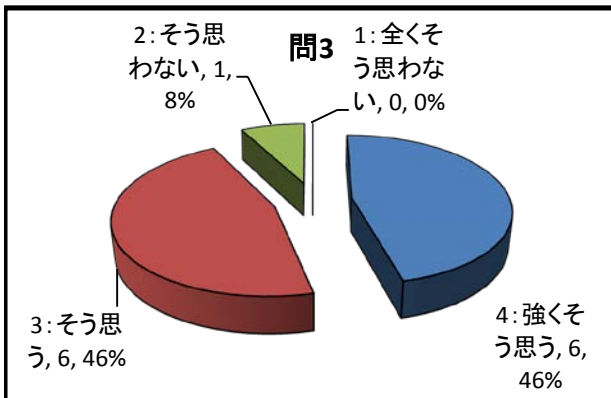
(コメント)

4と3をあわせて12件、92%であった。授業の難易度はおおむね適切だったと考えられる。

問3. 授業により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 6件 3 : 6件 2 : 1件 1 : 0件

【平均3.38】

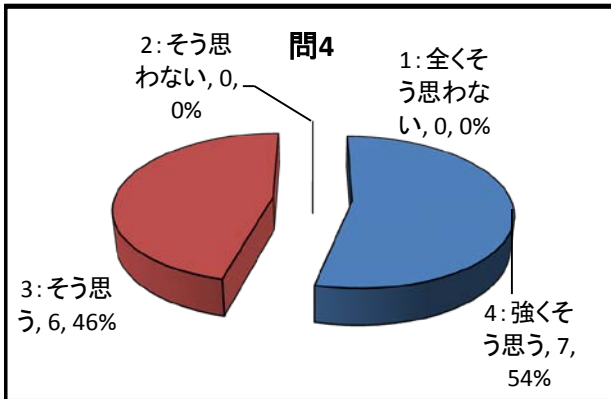


(コメント)

4と3をあわせて12件、92%であった。授業の内容はおおむね適切だったと考えられる。

問4. 視聴覚・情報機器等を使用する授業において、その使い方は効果的でしたか。

4 : 7件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.54】

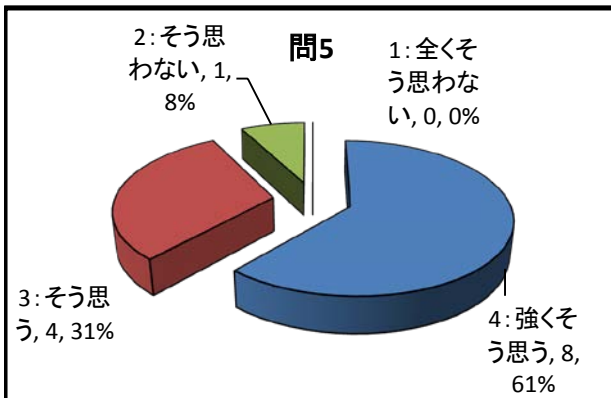


(コメント)

4と3あわせて13件、100%であった。機器の使用は効果的だったと考えられる。

問5. テキストやプリントなどの教材は授業内容を理解するのに役立ちましたか。

4 : 8件 3 : 4件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.54】

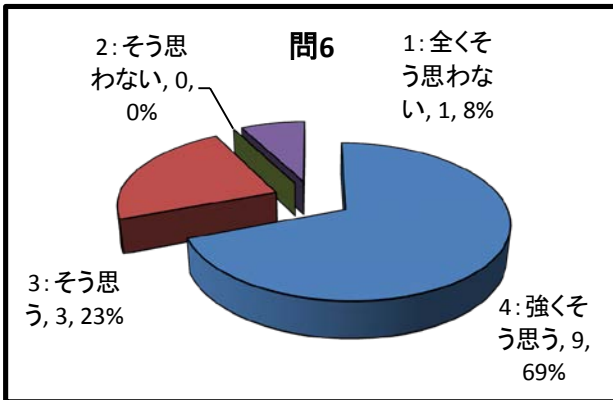


(コメント)

4と3をあわせて12件、92%であった。授業の教材の使用はおおむね適切だったと考えられる。

問6. ノートやメモは取りやすかったですか。

4 : 9件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.54】

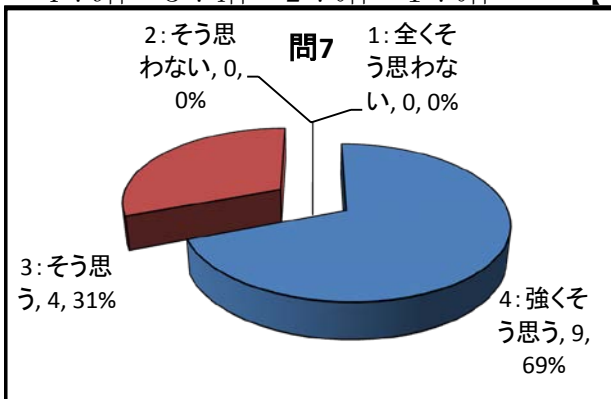


(コメント)

4と3を合わせて12件、92%であり、おおむねノートやメモを取りやすい授業であったと考えられる。

問7. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

4 : 9件 3 : 4件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.69】

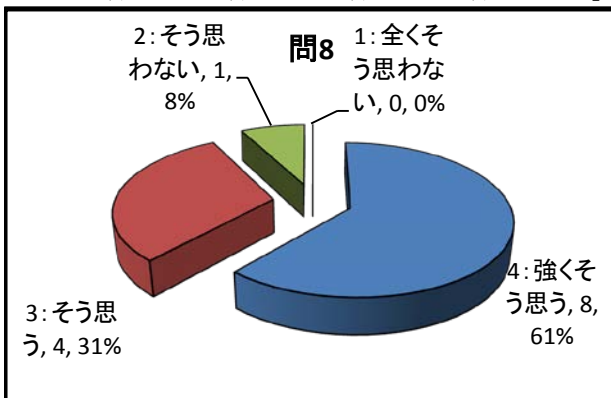


(コメント)

4と3をあわせて13件、100%であり、十分聞き取りやすかったと思われる。

問8. 重要な箇所が強調されるなど、授業の説明はわかりやすかったですか。

4 : 8件 3 : 4件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.54】

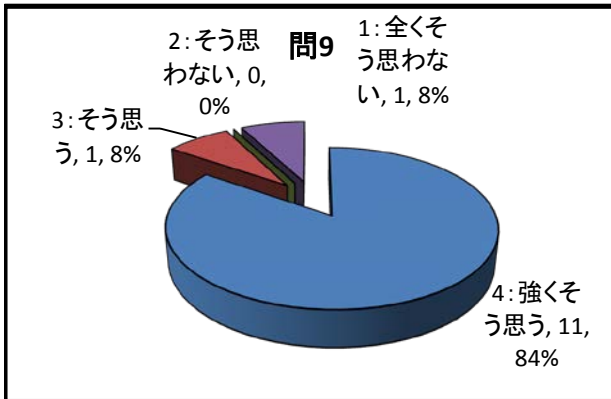


(コメント)

4と3の回答を合わせて8件、92%であり、おおむね授業の説明は適切であったと考えられる。2の回答が1件あったので、より学生にとってわかりやすい授業を行う必要があると考えられる。

問9. 教員は学生に授業参加（発言、質問）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

4 : 11件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.69】

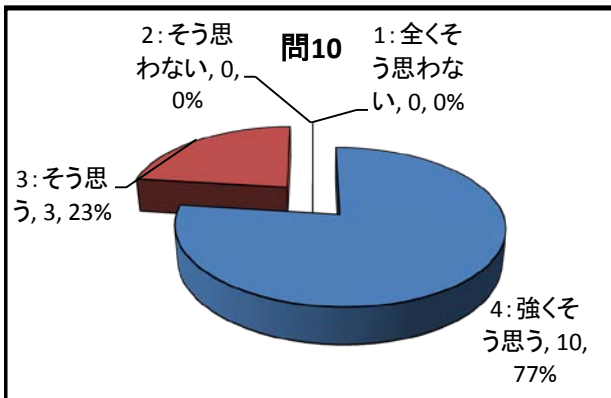


(コメント)

4と3をあわせて12件、92%であり、おおむね良く対応していたと考えられる。全くそう思わないの回答が1件あったが、学生の授業参加を意識し、今後の授業を行っていく必要があると考えられる。

問10. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 10件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.77】

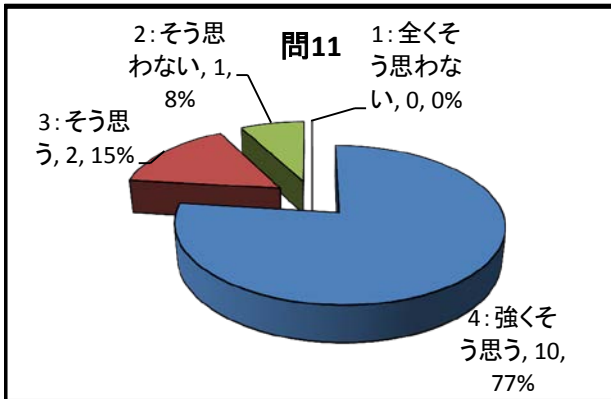


(コメント)

4と3の回答を合わせて13件、100%であった。授業の進度は適切であったと考えられる。

問11. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 10件 3 : 2件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.69】

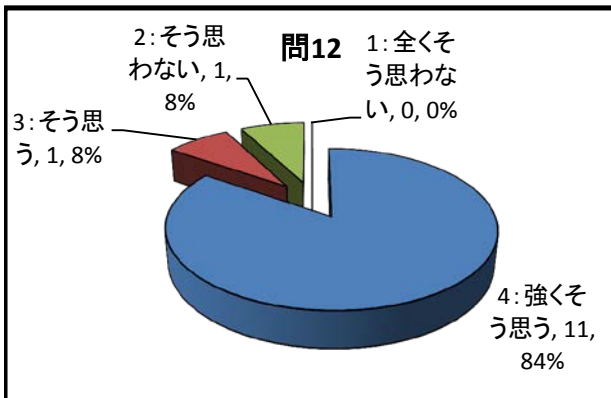


(コメント)

4と3をあわせて12件、92%であり、多くの学生は教員の熱意を感じていると考えられる。

問12. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 11件 3 : 1件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.77】



(コメント)

4と3をあわせて12件、92%であり、学生の多くが授業に満足していたと思われる。

問13. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 6件

- ・大変満足でした。
- ・担当教員が生徒の研究分野に配慮して、授業を行ってくれた。その点が良かった。
- ・学生が学びたいことを重視したカリキュラムであった点が良かった。
- ・講義の一環として行われたサロマ湖での実習は大変有意義でした。これまで受講したどの実習よりも充実していました。現地での実習というのももちろんですが、やはり少人数（今回は学生3人）というのが、この実習が自分の中で比類なく充実したものとなった理由の一つであると私は考えています。この実習は、もしこれから先も続けていくことができるのであれば、学生にとっては大変貴重な、そして有意義な時間になると、私は確信に近いものを感じています。この実習は、是非これから先も続けて頂きたいです。
- ・サロマ湖での実習経験は貴重であり、極域科学専攻らしさが会ったので今後も続けて欲しい。
- ・前期の授業と内容がかぶっている。

4. 平成24年度後期授業評価アンケートのまとめ

(1) 授業内容について（問1～問3）

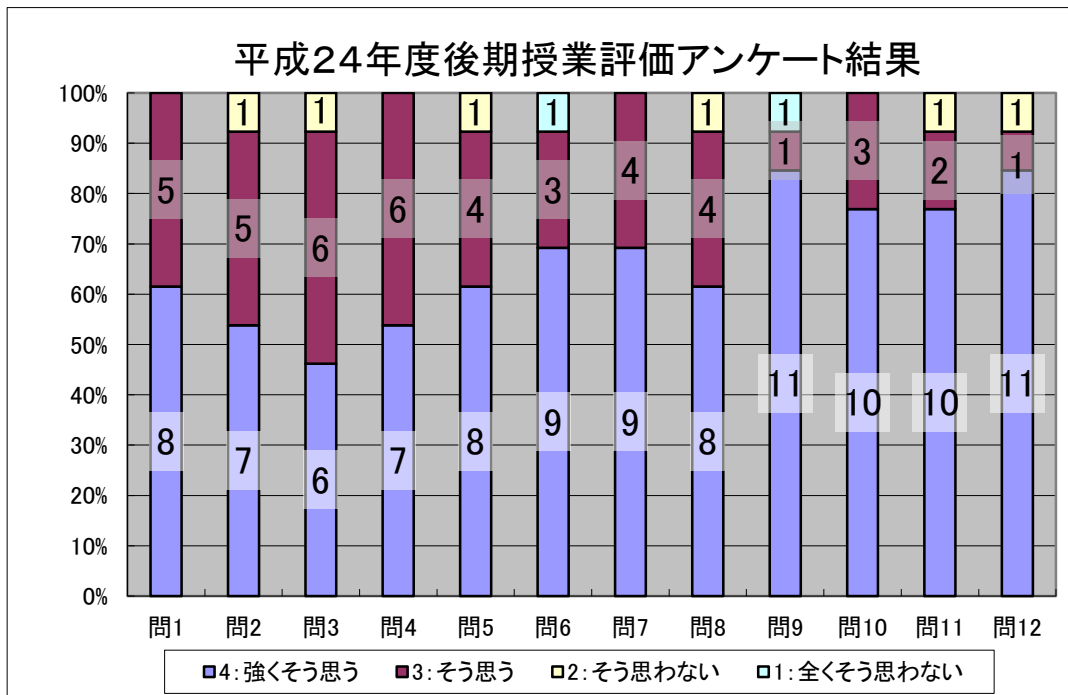
多くが高い評価だったものの、問2および3については2（そう思わない）の評価が1件ずつつけられていた。

(2) 授業方法について（問4～問11）

多くが高い評価であったものの、2あるいは1の低い評価がつけられている授業が散見された。各問における低い評価が同じ授業に対するものなのかは不明であるが、不満を感じている学生がいることは確かなので、各授業において内容や方法を見直す必要があると考えられる。

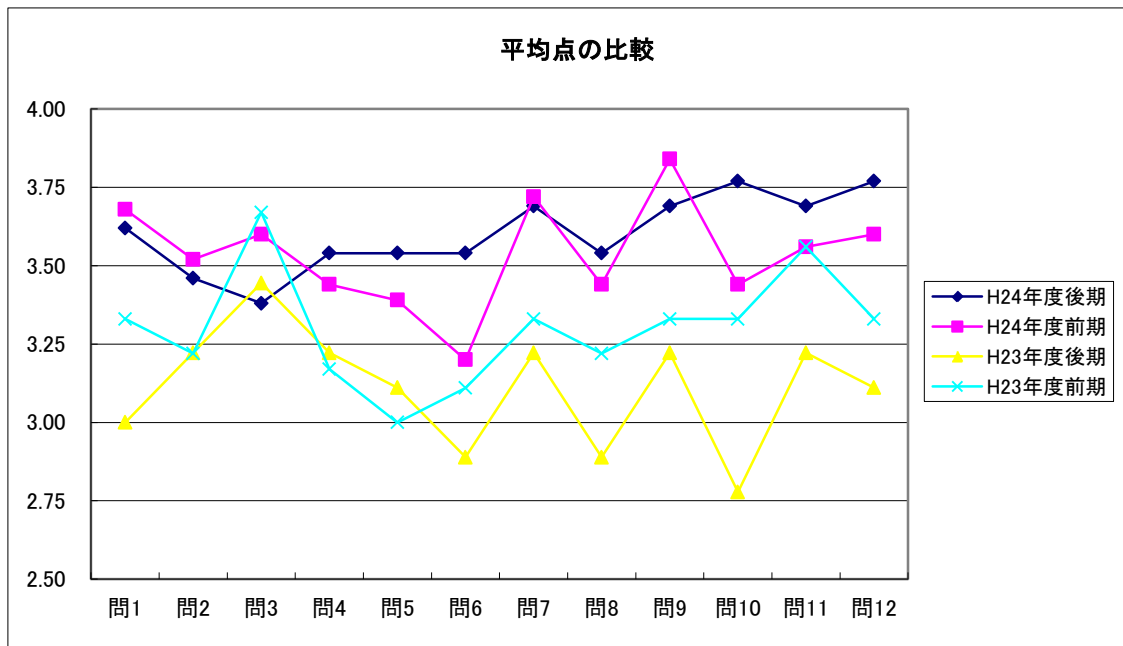
(3) 総合評価（問12～問13）

問12では、4と3を合わせて92%であり、多くの学生に満足できる授業を提供できたと考えられる。しかし、問13で「前期の授業と内容がかぶっている」との意見があったことから、他の授業との関連を確認し、場合によっては内容の調整を行う必要があると考えられる。



(4) 過去の授業評価との比較及びまとめ

過去の平均点と比較すると、全体的に高いことが分かる。唯一、問3（知的刺激を受けられたかどうか）の平均が低いので、より学生の知的好奇心を刺激するような講義を行っていく必要がある。



5. 今後の対応

平成25年度前期においても同様のアンケートを行い、年度ごとの比較を行っていく予定。
今回の調査結果については、専攻委員会及び学生へ回付し、極域科学専攻HPに掲載する。